



2024年6月28日

各 位

会 社 名 株式会社クラウドディアホールディングス
代 表 者 代表取締役会長兼社長 倉 正治
(コード番号：3607 東証スタンダード)
問 合 せ 先 執行役員管理部長 若林 雄次
TEL 075-315-2345 (代表)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は2024年6月28日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社の現状を評価・分析し、改善に向けた今後の対応方針を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状の評価・分析

	第43期 2019年 8月期	第44期 2020年 8月期	第45期 2021年 8月期	第46期 2022年 8月期	第47期 2023年 8月期
売上高(百万円)	12,359	8,272	7,015	9,507	11,521
営業利益(百万円)	308	△2,311	△1,732	104	553
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	61	△2,367	△810	824	562
ROE(%)	1.08	△53.73	△29.36	29.95	16.45
PBR(倍)	0.76	0.89	1.05	0.78	1.60
PER(倍)	69.8	—	—	3.0	10.5
期末株価(円)	492	319	282	277	665

資本コストと資本収益性のバランスにつきまして、当社試算の株主資本コストは5.0%程度と認識しておりますが、それに対する2023年8月期末におけるROE(自己資本利益率)は16.5%となっております。また、2023年8月期末における市場評価としてのPBR(株価純資産倍率)は1.6倍であり、1.0倍以上となっております。

直近5期では、世界的な感染症拡大の影響を受けた2020年8月期以降は投下資本で収益を出すことが困難となる一方、2022年8月期には需要の回復とともに2期ぶりに黒字化を達成し、利益水準が大きく変動いたしました。資本収益性を確保するためには、安定した利

益水準を維持することが重要であると認識しております。

2. 目標及び具体的取り組み

現状を踏まえて、安定した業績で資本コストと資本収益性のバランスを評価することが重要であると捉えており、まずは公表しております連結業績予想の達成を行うことと、継続的な利益計上を通してROE 8%以上を維持すること目標としてまいります。そのための具体的な取り組みは下記のとおりであります。

(1) 事業戦略

「ものづくり」をコア事業としながらブライダルマーケットのあらゆる事業に進出し、事業領域を拡大しながら収益基盤をさらに強化し、総合ブライダル企業として勝ち残ることを目指してまいります。

① ホールセール事業部門

婚礼衣裳メーカーのトップ企業として、引き続き高品質かつ魅力的な商材を開発し、積極的に情報発信をすることで顧客に選ばれるブランドとして価値を高めてまいります。

② コンシューマー事業部門

ブライダル業界のトレンドをとらえ、提携先の新規獲得及び新規出店による拠点網の拡大を目指すとともに、拠点ごとの採算について慎重に検討し、事業ポートフォリオのスクラップ・アンド・ビルドを推進してまいります。

また、トップメーカーとしてのブランド力と全国に広がるネットワークを活用し、多様化する婚礼行事の変化に適応した高付加価値の商品・サービスの提供を行ってまいります。

③ M&Aによる事業拡大

当社はM&Aによる事業領域の拡大に豊富な実績があります。2019年3月には内田写真株式会社がグループ入りし、成長過程にあった当社の写真事業の新たな推進力と収益基盤になりました。2023年11月には婚礼和装メーカーの株式会社二条丸八をグループに迎え、婚礼衣裳メーカーとしての当社のコア事業をより強化するものとなりました。

現在のブライダルマーケットにおける事業再編の機運は高まっており、今後も投資先を慎重に検討しながら積極的にM&Aに取り組んでまいります。

(2) 財務戦略

長期的に安定した配当を維持し、株主還元の充実を図ることを重視してまいります。2023年8月期末で1.8%でありますDOE（株主資本配当率）を、2.5%以上にすることを目標とし、現状10%水準である配当性向は中長期的に30%を目指してまいります。

(3) 非財務戦略

IR活動の充実を図ります。IRミーティングの充実、適時適切な情報の開示に努めま

す。

次世代のブライダル人材の確保・育成に努めます。当社は人材を資本としてグループの成長を見込んでおり、多様な従業員が各々のライフステージに左右されることなく働ける環境を整備してまいります。

以 上